

私が苦勞した現場について

豊前支部 松浦 敬臣*

私は主要地方道犀川豊前線という路線で道路改良事業を担当しています。本事業は霊験高らかな求菩提山という山を切り開くものですが、トンネルや橋梁と言った大規模な構造物は余り無く、切り盛を中心として改良事業が進められております。今回私が紹介する現場は約4万 m³という大盛土の現場です。4万 m³と言っても、一度に全ての盛土を行うわけではなく、何度かに分けてを行うのですが、一番苦勞したのが盛土の法尻部にあたる場所の施工でした。というのも、法尻部の盛土を行った際、現場は工事長約130mで最大の高低差が80mにも及んだからです。夏場の施工に関わらず幸いにも集中豪雨等に見舞われなかったため何事ありませんでしたが、監督員である私と施工業者の安全管理が十分で無ければ、切る、運搬する、盛るのいずれを取っても些細なことでも大惨事を引き起こしかねませんでした。今考えると、夏の暑いときに高低差80mが上がったり降ったりする日々が続いて、体力的にもハードでしたが、それもいい思い出として残っています。

このような現場を担当することは今後余り無いかもしれませんが、今後も安全管理には十分留意して現場の施工監督を行っていきたいと思います。

* 豊前土木事務所道路課建設係